

災害対策全国交流会 IN みやぎ
第3分科会

仙台東部地域の被災集落における
復興まちづくりと市民参加
＝住民自治のちからを引き出す＝

東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター

世話人 福島かずえ(宮城県議)

2011・3・11 東日本大震災発生

仙台市(若林区)甚大な被害

15年10月1日現在

プレハブ仮設住宅入居世帯

544世帯

みなし仮設住宅入居世帯

4465世帯

仙台市 死亡数 997人

(若林区で発見 339人)

若林区建物被害 全壊 7195戸

大規模半壊・半壊・一部損壊

計 35469戸

(仙台市 全壊30034戸

大規模半壊・半壊・一部損壊

計 225655戸)

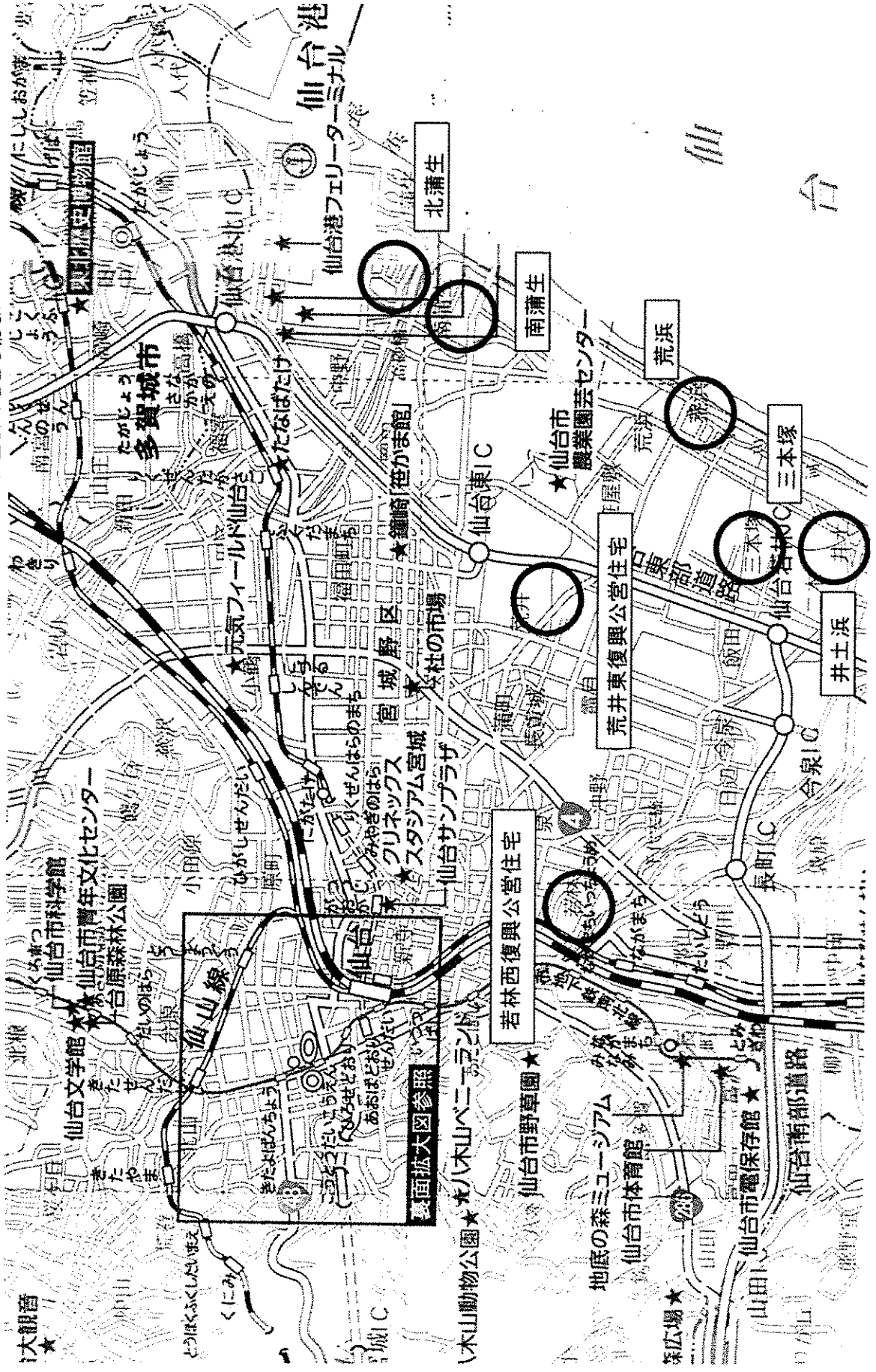
仙台市東部地域 農地被災

1800ha (耕地面積の78%)



<http://www.miyagikenmin-fukkoushien.com/>

<http://www.city.sendai.jp/keizai/nourin/higashinohon-daishinsai/pdf/kirikushi/H25/TOBU.pdf>





「明日の三本塚を考える会」は

住民主体のまちづくり

に取り組めます！

「明日の三本塚を考える会」をサポーター！「私たちがも応援しています！」

「明日の三本塚を考える会」は、日本共産党の指導のもと、三本塚地区の住民主体のまちづくりを推進する会として、12月18日に発足しました。本会には、約100人の住民が参加し、幅広い世代の参加も見られています。この会は、住民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。また、住民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。

この会は、住民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。また、住民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。

「明日の三本塚を考える会」は、住民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。また、住民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。

「明日の三本塚を考える会」は、住民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。また、住民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。

仙台市に拠出した
環境部の拠点は、
下記の6点です。

- ① 環境と生活の一体的整備
生活圏内の環境改善を図り、生活環境の向上を図る。また、生活環境の向上を図る。また、生活環境の向上を図る。
- ② 自治体間の連携の推進
自治体間の連携を推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。
- ③ 安全対策の推進
安全対策を推進し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。
- ④ 地域参加による計画づくり
地域参加による計画づくりを推進し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。
- ⑤ 再建支援制度の充実
再建支援制度を充実し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。
- ⑥ フォロワーグループの育成
フォロワーグループの育成を推進し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。

「明日の三本塚を考える会」これまでの取り組みの経緯

年	月	内容
2011年	12月	12月18日 (月) 「明日の三本塚を考える会」として仙台市に環境部を拠出。 12月28日 (水) 秋田県議会の「環境部長の発言」を踏襲して、環境部を拠出。
	1月	1月9日 (月) 仙台市議会の「明日の三本塚を考える会」の発足を推進する。約100名の参加者あり。 1月14日 (土)～15日 (日) 第一次委員会の開催。約10名の参加者あり。 1月19日 (水) 第二次委員会の開催。約10名の参加者あり。 1月23日 (日) 第三次委員会の開催。約10名の参加者あり。 1月27日 (木) 第四次委員会の開催。約10名の参加者あり。 1月31日 (日) 第五次委員会の開催。約10名の参加者あり。
2月	2月10日 (金) 第一次総会の開催。約100名の参加者あり。 2月15日 (水) 第二次総会の開催。約100名の参加者あり。 2月17日 (金) 第三次総会の開催。約100名の参加者あり。 2月23日 (木) 第四次総会の開催。約100名の参加者あり。 2月28日 (水) 第五次総会の開催。約100名の参加者あり。	
	3月	3月9日 (金) 仙台市議会での議案の提出。 3月18日 (金) 仙台市議会の議案の採決。 3月23日 (木) 仙台市議会の議案の採決。 3月28日 (水) 仙台市議会の議案の採決。
	4月	4月18日 (金) 第二次総会の開催。約100名の参加者あり。 4月23日 (木) 第三次総会の開催。約100名の参加者あり。 5月1日 (水) 第四次総会の開催。約100名の参加者あり。 5月6日 (金) 第五次総会の開催。約100名の参加者あり。
	5月	5月18日 (水) 第六次総会の開催。約100名の参加者あり。 5月23日 (金) 第七次総会の開催。約100名の参加者あり。 6月1日 (木) 第八次総会の開催。約100名の参加者あり。 6月6日 (土) 第九次総会の開催。約100名の参加者あり。
6月	6月18日 (金) 第十次総会の開催。約100名の参加者あり。 6月23日 (木) 第十一次総会の開催。約100名の参加者あり。 7月1日 (水) 第十二次総会の開催。約100名の参加者あり。 7月6日 (金) 第十三次総会の開催。約100名の参加者あり。	

希望を持って踏み出すために
住民の声をしっかりと聞き取り、市民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。

日本の未来を担うために
市民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。

一人ひとりの思いを「まちづくり」へ
市民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。

三本塚らしい自治体のまちづくり
市民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。

環境部を拠点としたまちづくり
市民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。

市民主体のまちづくりを推進し、自治体の役割を拡大し、住民主体のまちづくりを推進することを目的としています。

東六郷らしい地域再生を、まずは三本塚から！

今ままでこんな取り組みをしてきました



三本塚

まちづくり

ニュース

第1号

右くじ

2ページ... ◆「よいよい計画」明日の三本塚を考える会【住民主体のまちづくり】を日曜します

3ページ... ◆「明日の三本塚を考える会」をサブポートする専門隊のご紹介

4ページ... ◆三本塚地区の既設まちづくり、これまでの取り組みの総論

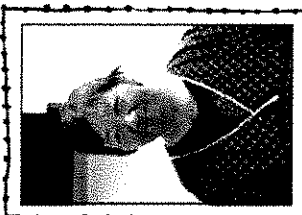
◆「こりう」取り組みの紹介をしてきました！ 定例会・状態調査・懇談会のご紹介

◆第4回懇談会のご案内

聞いて下さい！
私のまちづくり
vol.1

東六郷らしい地域再生を、まずは三本塚から！
でも、皆さんはここで三本塚をどうにか
う決定を下しました。でも、あれは三
本塚での再生に向け、自分の力で
を始めていこうとします。
あれが実現するのは、東六郷がもっと
なびく、あたたかくなるといいですね
ですね。東六郷は、東六郷がもっと
く、安全に、安心して暮らせる場所が
増えるようにしたいです。東六郷に
また、東六郷らしい地域再生を、

三本塚地区
大友 よし江さん



定例会

ニッパリア仮設住宅型にある
新築型にて、月3回ほど住民
の皆さんと専門家の皆さんが
集まって、東六郷調査と我々
再生推進者が協定する地域に
おいて、どのようにして河津
の地域を表現しつつ、新しい
まちづくりを行っていくか、復
原し合いを行っていきます。復
原に向けた仙台市や関係機関の
支援策についても情報収集を
行い、この場で参加者同士で
共有することで、提示された
文書などでどのような復原ま
ちづくりが実現できるか考えて
いきます。専門家の意見だけで
はなく、住民の皆さんとの意見
も反映された、より地域に響
いた復原まちづくり計画の
進捗を目指しています。



状態調査

よりよい地域の将来像を構
想するために、住民の皆さんが今
置かれている状況を把握する
ための「状態調査」を、今年
から継続して実施しています。
住民が一人一人の調査に対して、
同じ地域にお住まいだった方
や専門家の先生、サブポートス
トップが一緒にお話をうかが
います。

今回の調査によって生まれ
た地域への不安は、お一人お
一人違います。そうした個別
の運用も、この「状態調査」
では丁寧にうかがうことで
きます。将来的には、住民の
個別の意見を反映させたま
ちづくりの計画を仙台市に申し
て希望し、住民の皆さんに立っ
たまちづくりをすすめてい
たいです。



懇談会

これまで過去3回の懇談会を
開催してきました。内容は、他
の地域で取り進められている取組
に向けた質問の場や、住民アン
ケートや地域再生の成果報告、生
きた人脈でサブポートスチームで地域
の将来像を語り合うワークショップ
などです。毎回の名を冠する
多くの方の皆さんにご参加い
ただいています。

今後も、定例会だけでなく、
より多くの皆さんにご参加い
ただける機会も実行して行くこ
とで、「東六郷らしい地域再生」
を住民同士で共有しながらか、「住
民主体のまちづくり」を進めて
まいります。

第4回目の懇談会も近日開催
予定です。懇談会に向けて、住民
同士で質問・考慮・不安を語り
合う機会です。ぜひともご参加
をお待ちしております。



◆第4回懇談会のお知らせ◆

- 内容：・定例会での話し合いの振り返り
・ワークショップ：「三本塚らしい」地域再生を再掲して
一部議、文化など「三本塚らしい」をみんなで作って出してみよう
- 日時：2018年6月30日（土） 15時～20時
- 場所：大塚市民センター 3階・和室
- お問い合わせ先：明日の三本塚を考える会 代表：小野智信 090-3123-4813

「こりう」のホームページ

三本塚の復興についての第一次要望書

私たちの住んでいる三本塚（六郷東部地区）は、現代の行政区画が設定される以前から農村集落として「結い」等、協働をベースとした濃密な人間関係が築かれ、受け継がれてきた地域です。近年、専業農家が減少するなか農村の豊かな自然環境を守り住みよき集落づくり、子供から高齢者まで集落一丸となって取り組んでおり、今後も絆を大切にしながら取り進める予定でした。

しかしこのたびの東日本大震災（大津波）で家族や親戚、仲間など、かけがえのない大切な命と自宅や家財、農機具などの財産、そして良好な農地・集落環境をも失いました。大きな悲しみと喪失感を抱えながらも何とか希望を持ちこの地で再び生きていこうと皆で力を合わせているところです。

でも、あまりにも多くのものを失い、その失ったものの大きさは個人、ひとり一人によって違いがあります。

誰もが希望を持って生きていく事ができるように、津波による犠牲者が出ている事実を踏まえ、多種多様な被害に応じた復旧・復興を希望します。

三本塚の集落再生と復興のために、住民が主体となり、これまで培ってきた人間関係を切り離さない、コミュニティを大切にしたいと農業を継続していただける三本塚の復興ビジョンをつくり、行政とともに実行していきたいと考えております。仙台市だけで実現できない場合は県・国とも力を合わせて、すみやかに実現されるよう求めます。

1. 現地再建する人にも地区内移転を希望する人にも格差のない公平な支援を行うこと

- ・現地で再建する人への盛り土やかかさ上げなどの施策を使いやすく充実にさせるとともに支援金額の拡充を行うこと。
- ・三本塚では住民同士で農地を交換し地区内より安全な東部道路西側へ移転を進めています。それに伴う土地造成の支援を行うこと。また上下水道などのライフラインの整備や道路・公園などの公共施設の設置は市で行うこと。
- ・定年退職者や高齢者でも、住居や生業を再建できる支援を行うこと。

2. 現地の安全を確保し、住みやすい環境に改善すること

- ・集会所兼用の2階建ての避難施設をはじめ、お年寄りが歩いて避難できる避難施設を数箇所（最低3ヶ所）整備すること。
- ・地区内の排水設備を整備すること。

3、大規模経営も小規模経営も、専業も兼業も、集団も個人も、多様な農業経営が持続・発展できる施策をつくり、支援すること

- ・大区画圃場整備によって、兼業農家が減少することが危ぶまれています。小さな農家でも農業を再生できるように支援すること。
- ・都市近郊農業の強みを生かした三本塚ならではの「農を活かした暮らし」が実現できるよう、市民との交流を図る直売所や滞在型の市民農園などを地域につくる学習や研修、情報提供などに対する支援を行うこと。

2012年9月20日

仙台市若林区三本塚町内会

会長 小野 吉信

仙台市若林区三本塚字権太 277-3

【連絡先】仙台市若林区日辺字沖田東 15

日辺グランド*応急仮設住宅 25-6

電話 090-4887-5045

仙台市長 奥山 恵美子 様

2015.11.16 「河北」(571)

復興の恵み味わって

東日本大震災の津波で被災した仙台市若林、宮城野両区の25町内会などでつくるせんだい東部復興市民会議は23日、復旧農地で収穫された農産物を味わうイベント「仙台イーストキッチン」を若林区の市農業園芸センターで開く。東部地区が育む食文化の魅力を発信しようと、初めて企画した。地元食材を使ったみそおにぎり、豚汁、漬物を現地で調理し、来場者に提供。広場にコメや野菜、加工品などの直売コーナーを開設する。

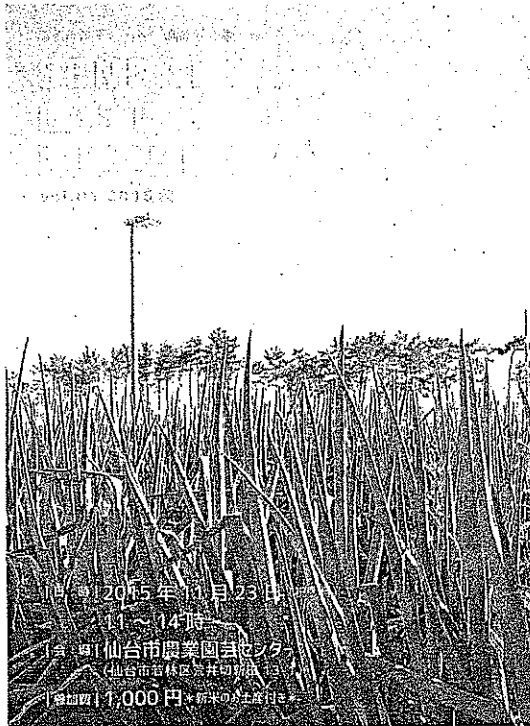
せんだい東部会議 23日催し

大立百祥子さんを聞き手に、高砂、七郷、六郷3地区の農業再生や将来ビジョンをテーマにした住民とのトークセッション、被災した市沿岸部の暮らしや文化を伝承する

地元食材で調理 豚汁や漬物提供

フリーペーパー「RE・プロジェクト通信」の展示などもある。市民会議共同代表で若林区三本塚町内会長の小野吉信さん(65)は「100万都市にある豊かな台所の存在をアピールしたい。震災復

豊かな台所PR



「仙台イーストキッチン」への来場を呼び掛けるチラシ

興を進める上で、消費者と支え合いの関係をつくる機会にしたい」と話す。*で事前予約が必要。午前11時〜午後2時。定員300人。参加費1000円(新米1キロのお土産付き、小学生以下は無料)。

希望者はメール sendai_toubu_fukkou@yahoo.co.jp で事前予約が必要。連絡先は、市民会議共同代表の 小野さん 0222(2889)3773。

終わりに

- × 復興の主体の形成⇒なかなか、たいへん…。
- × 「住民自治」の主人公は住民。
- × 自治力は日常普段から。(女性、若者、子どもが参加できているか?)
- × 「知は力」⇒学ぶ場の確保⇒無料の場所確保
- × 専門家・技術者・研究者の力をかりて
- × 学びつつ実践。⇔「せんだい市民自治研究会」「復興支援みやぎ県民センター」等